

# 尾瀬高校同窓会報

R. 2. 3. 2

38



編集発行人 千 明 ふさ子

群馬県沼田市利根町平川1406  
群馬県立尾瀬高等学校同窓会  
☎378-0301 ☎0278(56)2310印刷所  
コトブキ印刷

## 同窓会報発刊に寄せて

同窓会長 千 明 ふさ子



同窓会報第38号の発刊にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

私は、令和元年7月20日の総会により会長を拝命致しました幡谷在住の千明ふさ子と申します。井上前会長様の後任として微力ながら精一杯務めさせていただき所存であります。つきましては、これからの同窓会活動が円滑に進められますよう皆様方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

さて、本年度の大きな出来事と言えば、「平成」から「令和」へと年号が移ったことではないでしょうか。「令和」の年号は初めて日本の古典「万葉集」から引用されたと言うことでニュース等多く取り上げられました。出典が「万葉集」からということではなにか心躍るものを感じておりました。

すると、幾度か尾瀬高等学校の式典に参加させていただいているなか、体育館に掲げられている校歌の一節「四季清らにも麗しき」が武尊高等学校時代の校歌の歌詞にも共通して歌われていることに気付かされました。その上、「麗し」の言葉が、「万葉集」の中にも歌われていることと繋がってきたではありませんか。私が、高校生だった時の古典の授業で日本武尊（ヤマトタケルノミコト）が読んだとされる「倭は 国のまほろば たたなづく 青垣山ごもれる 倭し うるわし」の歌が蘇ってきました。当時は、「暗記しなさい。」と言われ意味を理解することなく唯ひたすら暗記した記憶しか残っていませんでした。それが、「令和」→「古事記」→「尾瀬高等学校の校歌」→「武尊高等学校の校歌」→「四季清らにも麗しき」→「日本武尊」→「倭は国のまほろば…倭し うるわし」→「麗し」と次々と連想されていきました。

日本武尊が、東征の折登ったとされる武尊山から見えたこの地の景色は、きっと「麗しの地」として目に映ったのではないのでしょうか。「麗し」は、見た目の美しさだけでなく精神的に豊かで気高いという意味もあるということです。

本校の創設に関わられた方々は「麗し」の言葉に、四季清らかな山々に囲まれ、豊かな自然の中で気高く学ぶ私たちの姿を思い描いたのではないのでしょうか。

このように、創設期の方々に思いを馳せると一層「麗し」の言葉の重みを感じます。

そして、「令和」の時代。日本武尊が武尊山から眺めただろうこの地にどのような「麗し」の意味を付け加えていくかが、課題となっていると考えます。

同窓会としてよりよい活動を模索し、母校の発展に寄与できるよう努力することを改めて決意させていただきます。

むすびにあたり、会報38号が無事発刊出来たことは、多くの方々のご尽力のお陰と心より感謝申し上げます。また、今後会員の皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。

## 創立60周年を控えて

校長 清水 堂



同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動充実のために、多大なるご支援とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。今年度も校訓である「謙虚」「克己」「愛郷」「滔滔」の具現化を目標に、教職員一丸となって一意専心教育活動に取り組んで参りました。

今年度は、4月の第57回開校記念式で、平成14年卒業でキャンプ場グリーンパーク吹割を経営し、利根町の活性化にご尽力されている小林勉氏にご講演をしていただきました。ご自身が本校卒業から経営者として今日に至る経緯や利根町にキャンプ場を開設した目的など、画像を交え、分かりやすく丁寧に説明していただきました。高い志を持ちそれを実現した先輩の話に、生徒は真剣に耳を傾けるとともに、夢や希望を持ち努力する大切さを学ぶことができました。尚、小林氏には今年度から学校評議員としても、学校運営にご尽力いただいております。7月の同窓会総会では本部役員のご改選がございました。長きに渡り同窓会長を勤められた井上隆至様のご勇退され、新会長に千明ふさ子様を選出されました。井上前同窓会長様には在任中、学校運営に一方ならぬご厚情をいただき深く感謝申し上げます。また、新体制となった同窓会からは、各種の調査・研

究活動の深化が図れるようにと3機のトイドローン  
を寄贈していただきました。早速自然環境科を中心  
に授業や部活動で活用させていただいております。  
尚、これらの取り組みにつきましては「ドローン  
プロジェクト」と題して随時ホームページで紹介さ  
せていただいておりますのでご覧いただきますよう  
お願いいたします。

さて、この1年間の生徒の活動について、全体に  
関わることを報告させていただきます。最初に「令  
和元年度文部科学大臣優秀教職員表彰」についてで  
す。自然環境科は、今年度も利根・片品地域の皆様  
と協働し、自然環境調査や自然環境再生ボラン  
ティアなどに取り組みました。長年に渡るこれらの活動  
が高く評価され「令和元年度文部科学大臣優秀教  
職員表彰」の被表彰組織として令和2年1月14日  
に表彰を受けて参りました。表彰は、同窓生の皆  
様が地道に取り組んでこられたこれらの活動を、  
在校生が一つの指標として引き継いできた、その  
成果が今日評価されたということになるかと思  
われます。誠にありがとうございました。次に国際  
交流活動です。交流活動3年目を迎えた台湾高  
雄市岡山高級中学校と、姉妹校を締結いたしま  
した。過去の交流活動は岡山高級中学校を迎  
えることを中心に取り組んで参りましたが、こ  
れからは訪問を視野に入れた交流を検討し、  
本校生徒の国際感覚を育成するための一助と  
したいと考えております。部活動では、例年以  
上に運動部・文化部問わず尾瀬高生としての誇  
りを胸に、持てる力を十分発揮し、県内外に  
尾瀬高校の名を広める成果をあげることができ  
ました(詳細につきましては「部活動・検定等報  
告」を参照していただきますようお願いいたし  
ます)。しかし現状に満足することなく、1日  
1日の取り組みを大切に、さらに上を目指すこ  
とを期待しています。最後に進路指導です。進  
学については、国公立大学・有名私立大学をは  
じめ、短期大学・専門学校いずれも大凡生徒  
の進学希望どおり合格をいただきました。就職  
についても昨年度を上回る求人いただき、1月  
月上旬までに全員が主に利根沼田・片品地域  
の企業への内定をいただくことができました。4  
月からは同窓生の皆様とともに、地域の発展  
に寄与する有為な社会人として活躍すること  
でしょう。生徒も諸々の活動において、同窓  
生や地域の皆様から多くのご助言やご声援を  
いただき、これを励みとして、澁刺と充実した  
1年を送ることができたのではないかと思います。

今年度は59名の生徒が本校を巣立っていき  
ます。同窓生も5,486名となりました。

小規模校ではございますが、小さいからこそ一  
人ひとりに目が届き、生徒のポテンシャルを  
最大限に引き出す指導が可能です。生徒、教  
職員いずれも精鋭が揃っており、その活力は  
大規模校にも匹敵するものと自負してござい  
ます。これからも後輩た

ちの活躍を楽しみにしていただけたら幸いです。

最後になりましたが、これまでの本校の歴史と  
伝統をさらに積み重ねる活動に取り組むべく、  
千明ふさ子同窓会長様をはじめとする同窓会  
本部役員の皆様、会員の皆様との連携を一層  
強化することを進めて参りたいと願っており  
ます。皆様のご健勝とご多幸、同窓会の益々  
のご発展を祈念申し上げますとともに、皆  
様のご期待にお応えできるような学校づく  
りを推進して参ります。今後とも一層のご支  
援とご協力をいただきますようお願い申し上  
げます。

## 高校時代を振り返って

平成27年度卒業

共愛学園前橋国際大学国際社会学部

児童教育コース4年

林 胡桃

「高校生活が人生で1番楽しい」と思っていた  
ほど高校生活は楽しかったです。高校を卒業して  
大学に入学してから早4年。大学生活はとて  
も充実しています。このように思えるのは尾  
瀬高校での3年間があったからだと思いま  
す。高校時代は担任の先生から勤めていた  
生徒会、学級委員長を2年間務めました。私  
はその時まで学校で目立つようなことはし  
たことがありませんでした。このような未  
経験の私でも生徒会や学級が成り立っていた  
のは友人や先生方の支えがあったからだと思  
います。なんとなく始めたことでしたが、今  
となっては大きな経験の一つとなっています。

学習面では習熟度別の少人数クラスでの学  
習、受験や検定の手厚いサポートのおかげで  
中学の頃よりも学力を向上させることができ  
ました。他にも教育に関わる仕事がしたい  
と考えていたので、3年生の家庭学習期間中  
にボランティアチューターの活動を紹介して  
いただき、2週間小学校で子どもと関わり  
ながら現場の様子を見ることができました。

大学は尾瀬高校に似ているところがありま  
す。それは小規模で学生と教授の距離が近  
いところだと思います。私の大学はコース  
(クラスのようなもの)が5つに分かれてお  
り、各コース約50名前後で必修授業も多  
いので学生同士もとても仲が良いです。教  
授も学生の名前を覚えてくれているので、  
相談がしやすい関係です。私は学校ではそ  
れが当たり前だと思っていましたが、高校  
が違う友人と話していると学校の先生の名  
前を知らなかったり、同学年の生徒を把握  
していなかったりするのが当たり前という  
友人が少なくはありません。「外に出ると  
地元の良さが分かる」とはこのことだと思  
いました。

大学に入ってからしばらくは新しい環境や  
学校生

活に慣れることに精いっぱい、高校時代では考えられないほど何も活動はしていませんでした。大学2年の時に友人に誘われて、北毛地区で学習支援活動を始めました。これも生徒会と同じくなんとなく始めたことでしたが、今となっては約20名の団体の代表を務めています。少し忙しいと感じることはありますが、学校生活はとても充実しています。高校時代や現在の経験を通して言えることは、何もしないより何かに取り組んでいる方が学校生活は充実するということです。学内活動などに対して最初からやる気がなくても構わないし、何かを始めるきっかけは何でも良いと思います。前述したように私が今行っている活動はなんとなくで始めたし、何も分からないまま始めても周りには必ず誰かがいて、支えてくれる人がいるので、基本的には何とかできます。尾瀬高校は特にそうだと思います。もちろん、高校生活のすべてが楽しいことなんてないと思います。しかし、そんなネガティブなことを上回るくらい楽しいことがたくさんあるので高校生には学校生活を楽しんでもらいたいです。

私は春から社会人になりますが、残りの大学生活含め今後、皆さんに応援してもらえるよう精進していきます。また、私も尾瀬高校の皆さんに応援しています。

## 高校時代を振り返って

平成27年度卒業

茨城大学理学部

数学・情報数理コース4年

萩原 明日香

尾瀬高校を卒業し、大学生になって約4年が経ちます。高校時代とは環境もやっていることもやりたいたことも変わりました。それでも日々のふとした瞬間に高校時代の友達や先生方の言動が思い起こされ、今も尾瀬高校で出会った色々な人に囲まれているような気持ちになることがあります。振り返ると、当時は役に立つと思わなかったことも、別々の関係のないことに思えた出来事も、積み重なって今に繋がっている気がします。

高校では自然環境科に所属していました。そこで学んだことは大学で専攻していることと直接には関係合いはないのですが、何かを知ったり理解したりする過程はその頃と本質的に変わらないような気がしています。高校1年生では実習で先生に様々なことを教わり、班でその情報を確認し、できるだけ本でその情報が正しいかを確かめ、ノートにまとめる。2年生では実際に調査をする。3年生では自然観察のプログラムを考え、小中学生や他の班を案内

したり、研究テーマをきめて文章としてまとめたりする。また、3年間を通して、分からないことや不思議だと思ったこと、興味を引かれたものは本やインターネット上で調べたり、友達と話し合ったりすることもありました。そんな風にして自然環境に関する知識を増やし、理解を深めていたと思います。今はどうかというと高校1年生から3年生までを短い期間で行ったり来たりしているような感じで、講義や本で学んだことを別の本などで調べてみたり、実際に手を動かして結果を確かめてみたり、知ったことをどう説明すれば分かりやすいのかなどを考えたりしています。

また、高校では弓道部としても活動しました。弓道は今も時々練習しています。高校生の頃とは弓の引き方も目指しているものも変わりましたが、先生や仲間との活動を通して得たものは、今も様々なことを私に気づかせてくれます。

そのうちの一つにその時の顧問の先生がおっしゃっていた「正しいベクトルで努力する」ということがあります。そのためには自分が今どんな状態にあり、どうなりたいのかを考える必要があります。高校2年生まで私は大会で結果を出せたことがほとんどありませんでした。3年生になり自分には何ができて何ができないのかを考えてみると、やるべきことは調子のピークが大会に合うように練習することだと気づきました。短期的にはそれぞれの大会に調子が合うように、長期的にはインターハイ県予選にピークが来るようなイメージで練習していました。3年生の全ての大会に調子を合わせることはできませんでしたが、先生に指導していただいたことや仲間との練習で身に付けたことをいくつかの大会で発揮することができました。「正しいベクトルで努力する」という言葉は、今もどの方向へ向かえば良いかを私に教えてくれます。

尾瀬高校での3年間は今思えば充実していましたが、楽しいことと同じくらい嫌なこともありました。そのことでたくさん先生方を困らせたり、心配させてしまったりしたと思います。あの頃は色々な面で支えていただいていたありがとうございます。特に3年間担任をしてくださった先生には本当に感謝しています。

また、ここでは書くことができませんでしたが、受験勉強の際には多くの先生が助けてくださいました。今があるのはその時の先生方のおかげだと強く思います。

今の尾瀬高校はどんな学校でしょうか。今年度は尾瀬高校の皆さんにお世話になる機会がありましたが、懐かしい雰囲気の中にも多くの変化があり、先生と生徒とが今まさに学んでいる場なのだと嬉しく思いました。これからも尾瀬高校が変わらずに変わり続けることを卒業生として願っています。

平成31年度・令和元年度 事業報告

年月日	行 事
H31. 4. 18	第57回開校記念式典および記念講演会
R 1. 7. 20	第55回同窓会総会および交流会
R 1.10. 1	トイドローン3台、および操作用タブレット 端末4台購入、学校へ寄贈
R 2. 1. 24	同窓会・PTA・活性化委員会・合同新年会 於 民宿みやま
R 2. 3. 2	同窓会報発刊

同 窓 会 会 則

第 1 章 総 則

- 第1条 本会は群馬県立尾瀬高等学校同窓会と称する。事務局は同校内に置く。
- 第2条 本会は会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために下の事業を行う。
  - 1 母校発展に寄与する事項
  - 2 会員親睦に関する事項
  - 3 その他必要と認める事項
- 第4条 本会会員は、転居その他一身上の都合で異動したとき本会に報告する。

第 2 章 会 員

- 第5条 本会会員は、県立沼田高等学校武尊分校卒業生、県立武尊高等学校卒業生及び県立尾瀬高等学校卒業生をもって組織する。
- 第6条 本校現在の職員は、特別会員となる。但し、退職後会長の特別推薦により特別会員となることができる。
- 第7条 本校の会員たる本分を失ったときは、役員協議のうえ除名することができる。

第 3 章 役員及び会員

- 第8条 本会は下の役員を置く。任期は3年とし、再選を妨げない。
  - 1 会 長 1名
  - 2 副会長 若干名
  - 3 書 記 2名
  - 4 会 計 2名
  - 5 支部長・副支部長（各支部別、1名ずつ）
  - 6 期別幹事（卒業年度別若干名）

- 7 監 査 2名
- 8 校内幹事（若干名）
- 9 顧 問

- 第9条 会長は本会を代表し会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその任を代行する。支部長・副支部長は各支部より選び、合議において会務にあたる。期別幹事は卒業年度別に選び、会務にあたる。監査は会計を監査し、総会において報告する。校内幹事は母校教職員より選び、会務を処理する。顧問は会長の諮問に答えるものとする。各役員は会長がこれを委嘱する。
- 第10条 毎年1回総会を開くものとする。

第 4 章 会 計

- 第11条 本会の経費は、会員の会費及びその他の収入を以てする。
- 第12条 本会の入会金は7,400円とし、卒業時に納入するものとする。
- 第13条 本会の永年会費は5,500円を納入し、蓄積して本会基本金とする。
- 第14条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

附 則

- 第15条 本会則に定めなき事項については、役員会の決により会長の承認を以て定める。
- 第16条 慶弔については、別途定める。
- 第17条 本会則は昭和43年9月5日より実施する。
  - 昭和50年 4月より入会金1,000円に改正
  - 昭和53年 4月より会費（年額）1,440円に改正
  - 昭和54年 6月20日会則一部改正
  - 昭和62年 6月14日会則一部改正
  - 平成元年 6月10日会則一部改正
  - 平成6年 5月25日会則一部改正
  - 平成8年 5月21日会則一部改正
  - 平成9年 6月17日会則一部改正、第12条は平成12年度より適用する。
  - 平成16年 6月22日会則一部改正
  - 令和元年 7月20日会則一部改正

令和元年度 部活動・検定等報告

部／同好 会／検定	大会名&結果		
野 球	春季大会 1回戦 0-10 利根商業高校	夏季大会 1回戦 0-6 渋川高校	秋季大会 1回戦 2-9 藤岡工業高校
ソフト テニス (男子)	高校総体 2回戦 0-3 高北	インターハイ予選 2回戦 0-3 太工 夏季大会 2回戦 0-3 太工	新人大会 1回戦 1-2 市前橋
ソフト テニス (女子)	高校総体 1回戦 0-3 高経付	インターハイ予選 2回戦 0-3 前商 夏季大会 1回戦 1-2 前女	新人大会 1回戦 0-3 桐女
バレー ボール	高校総体 1回戦 0-2 前橋育英 インターハイ予選 1回戦 0-2 藤北	北毛地区大会 1回戦 0-2 渋女 春高バレー県予選 1回戦 0-2 樹徳	
バスケット ボール	高校総体 1回戦 22-225 桐生工業 インターハイ予選 1回戦 29-162 桐生第一	WINTERCUP県1次予選 1回戦 40-67 高崎東 新人戦 1回戦 27-115 GKA	
卓 球	高校総体 団体 2回戦 0-3 高東	インターハイ予選 団体 2回戦 0-3 藤中央	新人戦 団体 2回戦 0-3 新田暁
弓 道 (男子)	県春季大会 団体 準優勝 (笠原・山崎・林・星野) 個人 4位入賞 笠原 利基 高校総体 団体 準優勝 (笠原・山崎・林・星野) (関東大会群馬県代表) 関東大会(茨城県) 男子団体出場 インターハイ予選 団体 予選敗退 個人 第3位入賞 笠原 利基	関東個人選手権県予選 個人 第7位入賞 笠原利基 (関東個人選手権群馬県代表) 国体関東ブロック大会(千葉県) 少年男子 近的5位・遠的4位・ 総合6位 笠原 利基 関東個人選手権(東京都) 出場 笠原 利基 北毛地区大会 団体 優勝(星野・山崎・笠原) 個人 優勝 笠原 利基 第4位入賞 山崎 南乃	新人大会 団体 準優勝 (星野・山崎・笠原・若井) (全国選抜大会群馬県代表) 東日本大会県予選 団体 第3位入賞 (星野・山崎・笠原・若井) 個人 優勝 笠原 利基 全国選抜大会(群馬県) 男子団体出場
弓 道 (女子)	県春季大会 団体 予選敗退 高校総体 団体 予選敗退 インターハイ県予選 団体 予選敗退 個人 決勝進出 武井由里菜 関東個人選手権県予選 第3位入賞 武井由里菜 (関東個人選手権群馬県代表)	国体関東ブロック大会(千葉県) 少年女子 近的1位・遠的1位・ 総合1位 武井由里菜 関東個人選手権(東京都) 決勝進出 武井由里菜 国民体育大会(茨城県) 少年女子 近的第7位入賞・遠的準優勝 皇后杯(総合)第6位入賞 武井由里菜	北毛地区大会 団体 準優勝(田村・林・高草木) 新人大会 団体 第3位入賞 (田村・林・高草木・桑原) 東日本大会県予選 団体 第4位入賞 (田村・林・高草木・桑原)

ス キ ー	<p>高校総体 アルペン 大回転 10位 佐々木綾斗 回 転 10位 佐々木綾斗 11位 石黒 青 クロスカントリー 10.5kmフリー 10.5kmクラシカル 優勝 鎬木 光</p>	<p>関東高校 アルペン 大回転 68位 佐々木綾斗 回 転 100位 佐々木綾斗 128位 石黒 青 クロスカントリー 5kmクラシカル 優勝 鎬木 光 5kmフリー 2位 鎬木 光</p>	<p>全国高校総体(インターハイ) 10kmフリー 6位入賞 鎬木 光 10kmクラシカル 3位入賞 鎬木 光</p>
理 科	<p>第67回群馬県理科研究発表会 高等学校の部(生物・コンペティション部門) 優秀賞 菅沼におけるウチダザリガニの生態調査 高等学校の部(生物・エキシビジョン部門) 優秀賞 尾瀬ヶ原におけるニホンジカライトセンサス調査 高等学校の部(ポスター部門) 優秀賞 武尊山水源の森における生物相調査2019 利根片品地域を中心としたアリヅカムシ亜科甲虫の生態学的研究 日本水環境学会 水環境文化賞(みじん子賞) ※2019年3月8日受賞</p>		
吹 奏 楽	<p>群馬県吹奏楽コンクール 高校Bの部 銅賞 柳波まつり街かどコンサート 桜花苑祭り 尾瀬山開き I N 群馬(尾瀬を愛しむ会) 利根沼田地区五校祭 北毛地区吹奏楽祭 平川神社祭 芸能祭 (その他年間約40回の演奏活動を実施)</p>		
商 研	<p>群馬県高等学校商業競技大会電卓競技 団体 準優勝 群馬県高校対抗税金クイズ大会 第3位 第12回熱血!高校生販売甲子園 出場</p>		
英 検	<p>準2級(1名) / 3級(2名) ※第1回と第2回の結果</p>		
漢 検	<p>2級(2名) / 準2級(2名) / 3級(3名) ※第1回と第2回の結果</p>		
商 検	<p>全商情報処理検定1級(ビジネス情報部門)(3名) / 全商珠算電卓実務検定1級(5名) 全商情報処理検定1級(プログラミング部門)(2名) / 全商ビジネス文書実務検定1級(5名) 全商簿記実務検定1級(4名)</p>		
家 庭 科 検 定	<p>第50回全国高等学校家庭科食物調理技術検定4級(52名) / 3級(5名) 第50回全国高等学校家庭科被服製作技術検定4級(42名) 第38回全国高等学校家庭科保育技術検定4級(4名) 第38回全国高等学校家庭科保育技術検定3級(3名)</p>		
J R C	<p>利根沼田地区高校 J R C 地区清掃 利根沼田地区青少年赤十字トレーニングセンター「救急救命講習会」</p>		
家 庭 ク ラ ブ	<p>環境ボランティア 桜花苑でのお呈茶会 エコキャップの回収 クラブ員功労者表彰 3-2 原澤麻未</p>		
G-nec ク ラ ブ	<p>アースデイ in 桐生2019ほか県内外のイベントにてネイチャークラフト体験教室(合計8回) ネイチャークラブ 毎月第3土曜日に実施(合計12回)</p>		
そ の 他	<p>第11回群馬県小中高生新聞感想文コンクール 優秀賞 山田梨加 エコ動画甲子園 準グランプリ 朝倉早也輝ほか、審査員特別賞 澤田絵美加ほか 第11回クラブ・ユース・フォーラム 利根沼田地域代表 山田梨加</p>		